

# 高分子分析研究懇談会の活動記録 (2011-2020)

寄稿について夏期合宿を目途に追加募集させていただきます。

本誌を眺めて、あるいは60周年記念講演会に参加して、湧いてきました会員の皆様の思い出・トピックスなどについて一緒に記録に留めて最終版とし、後日HPに掲載させていただきます。寄稿へのご協力どうかよろしくお願いします。

2023年4月28日(暫定版)

社団法人 日本分析化学会  
高分子分析研究懇談会

# 目次

巻頭言 「高分子分析研究懇談会発足 60 周年を迎えて」 運営委員長 菅沼 こと

## 高分子分析研究懇談会の活動記録 (2011-2020)

A	例会	1
B	日本分析化学会における講演会	13
C	高分子分析討論会	14
D	講習会	17
E	出版	22
F	運営委員 および 学会事務局	23
G	寄稿	26

60周年記念誌 (暫定版) 編集後記

60 周年記念誌担当 佐藤 信之

## 高分子分析研究懇談会発足60周年を迎えて

高分子分析研究懇談会 運営委員長

菅沼 こと（帝人）

日本分析化学会 高分子分析研究懇談会は、2020年に発足から60周年を迎えました。60年という長きにわたり本懇談会の活動が継続され発展してきたのは、ひとえに会員の皆様にご支援・ご協力いただきました賜物であり、本懇談会の活動を支えてきていただきました歴代の運営委員や企画委員の皆様のお力添えによるものです。これまで本懇談会に携わっていただきました多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

本懇談会が60周年を迎えた2020年は、世界中が新型コロナウイルス感染症による未曾有の危機に直面していました。新型コロナウイルス感染症は様々な社会活動を一変させ、3年経った今もなお、その影響は少なからず続いております。学会活動においても大きな影響を及ぼし、2020年は多くの学会活動が中止を余儀なくされました。本懇談会においても2020年3月に開催予定だった第60回高分子分析技術講習会 後期は、中止とせざるを得ませんでした。しかしながら、当時の運営委員会のご尽力や会員の皆様の熱意により、2020年8月にはいち早くWEB会議システムを取り入れ、それまでにはなかった新しい開催形式で第401回例会を開催しております。この新しい開催形式であるオンライン形式は、その後の活動においても取り入れられ、より多くの会員の皆様にご参加いただけるようになりました。

本懇談会の運営や活動においては、2020年におきた新型コロナウイルス感染症の影響による変化以外にも、運営体制の変革や開催行事の革新を繰り返してきており、今に至っております。60年という長きにわたって本懇談会が継続し発展してきたのは、変革や革新を厭わず繰り返してきたことが一因であると思います。

本懇談会が40周年を迎えた際に発行された「高分子分析研究懇談会40年の歩み」では、当時の高分子分析研究懇談会名誉会長である藤原鎮男先生のお言葉として、以下の通り本懇談会の理念が書かれております。

「この懇談会の特色は、産学官の立場を離れ、個人の立場で各々がもつ力を持ち寄り、会員が相互に錬磨しあおうという会の目標を厳守していることである。」

60周年は1つの通過点にすぎません。本懇談会が、今後も継続し発展していくために、この理念を大切にしつつ、常に変革・革新を繰り返していくことで、いつまでも会員が相互に研磨しあう会であることを願っております。

2023 年4月

## A 例会

例会では会員および外部講師による講演を主体とし、合宿においては自由討論による意見交換等の活動も行ってきた。各例会の期日、場所およびプログラムを以下に掲載する。

なお、内容を便宜的に次の3グループに分類し、記号で区別してある。

◆：一般講演

◇：ワークショップ

◎：その他

### 第357 回例会

2010 年5月10日 ゆうほうと

2010年度総会

◆RoHS指令とREACH規則—その最新動向とIEC/62321規格の現状

(産業技術総合研究所) 千葉 光一

◆高分子と水の関係を熱分析で探る (神奈川大学) 西本 右子

◇メタクリル酸エステル共重合体などのNMRスペクトルの多変量解析

(徳島大学) 平野 朋広

◇局所熱物性測定に基づくポリマー積層膜界面の精密構造解析

(花王) 丹治 範文

### 第358 回例会 (夏期合宿)

2010 年7月15・16日 ラフォーレ琵琶湖

【セッション1：講演】

◆固体NMR法から見た結晶性ポリマーブレンドとゴム材料 (防衛大学) 浅野 敦志

◆中性子反射率測定による高分子電解質ブラシの水界面構造解析

(九州大学) 小林 元康

◆HPLCを用いた高分子の精密キャラクタリゼーション—環状高分子を例にして—

(名古屋大学) 高野 敦志

【セッション2：分科会】

◎ A 分科会：NMR分析

◎ B 分科会：表面分析

◎ C 分科会：分離分析 (液体クロマトグラフィー)

【セッション3：講演】

◆電子顕微鏡による高分子微細構造解析 (産業技術総合研究所) 堀内 伸

◆可逆的犠牲結合の導入による自己修復能を持つ高靱性ゲルの創製

(北海道大学) グン チェンピン

【セッション4：分科会まとめ】

### 第359 回例会

2011 年9月5日 ゆうほうと

◆高速液体クロマトグラフィーによる共重合体の組成分別

(東京農工大学) 荻野 賢司

◆合成高分子の構造解析における熱分解GC×GC/MS法の活用と熱分解生成物の保持時間予測への取り組み

(旭化成) 佐藤 幸司

◇高周波加熱装置による樹脂の分析事例

(DIC) 仲村 仁浩

◇モニタリングツールとしてのラマン分光法—DSC-Ramanを中心として—

(エス・ティ・ジャパン) 落合 周吉

### 第360 回例会

2011 年12 月6日 ゆうほうと

◆高分子の伸長結晶化による“ナノ配向結晶体”発見—構造・物性と高性能化—  
(広島大学) 彦坂 正道

◆生物より産出される「キチンナノファイバー」の単離技術とその利用開発  
(鳥取大学) 伊福 伸介

◇ポリマーの安全性とは? (クラレ) 嶋村 三智也

◇誘導体化法を組み合わせた<sup>1</sup>H,<sup>19</sup>F-NMRおよびDOSYによるカルボン酸や水酸基を有するポリマーの構造解析  
(カネカテクノリサーチ) 曾我部 啓介

### 第361 回例会

2012 年2 月7日 ゆうほうと

◆高分子の劣化メカニズムとその解析手法 (群馬大学) 黒田 真一

◆生細胞内ミトコンドリアの光応答判定技術による抗がん成分薬効評価システムの創製  
(九州大学) 小名 俊博

◇時分割XAFS等を用いた硫黄架橋系水素化NBRの架橋状態解析 (豊田中央研究所) 光岡 拓哉

◇親フッ素-親油-親水バランス評価に基づいたフッ素系ポリマーのLC分析法開発  
(旭硝子) 中島 陽司

### 第362 回例会

2012 年4 月26日 ゆうほうと

◎ 2012年度総会

◆複合電子分光による物性画像診断とそのリチウム電池材料への応用  
(名古屋大学) 武藤 俊介

◆高分子ゲルに束縛された溶媒分子の凝集形態とサイズ (龍谷大学) 中沖 隆彦

◇放射光で測る高分子の高次構造 (帝人) 佐藤 和彦

◇SPMによる高分子材料の表面解析 (東ソー分析センター) 松本 良憲

### 第363 回例会 (夏期合宿)

2012 年6 月29・30日 湘南国際村センター

【セッション1: 講演】

◆ソフトマター架橋ゴムの特性 (京都工芸繊維大学) 池田 裕子

◆ナノ微粒子-質量分析(Nano-PALDI)法による生体組織、食品分析の紹介  
(北陸先端科学技術大学院大学) 平 修

◆『観る』『診る』『見る』イメージングIRによる高分子材料の可視化解析技術  
(日産アーク) 長谷川 利則

【セッション2: 分科会】

◎ A 分科会: 放射光分析

◎ B 分科会: 質量分析

◎ C 分科会: 分光分析

【セッション3: 講演】

◆光学的手法による高分子のレオロジー測定 (大阪大学) 井上 正志

◆ポリマーへのにおいの移香現象 (九州大学) 松井 利郎

【セッション4: 各分科会のまとめ報告】

### 第364 回例会

2011 年9月26日 ゆうほうと

- ◆ソフト準結晶-準結晶の新展開- 2011年ノーベル化学賞『準結晶の発見』（近畿大学）堂寺 知成
- ◆高分子の階層構造変化ならびに構造物性相関解明のための新しい分析システムの開発と実際  
(豊田工業大学) 田代 孝二

◇LC/MSの活用事例 (東洋紡績) 高杉 健

◇<sup>13</sup>C-NMRおよびPyGCによるフェノール樹脂の分岐・橋架け構造の定量分析

(日立化成テクノサービス) 野本 雅弘

### 第365 回例会

2011 年12月10日 ゆうほうと

- ◆NMRを利用した包括的メタボローム解析 (産業技術総合研究所) 根本 直
- ◆ナノ有害性評価における液中特性解析 (産業技術総合研究所) 加藤 晴久
- ◆ポリマクロモノマーのキャラクタリゼーション (京都大学) 中村 洋
- ◆合成高分子鎖お高分解能原子間力顕微鏡観察 (山形大学) 熊木 治郎
- ◇熱分解GC/MSに多変量解析を適用したEPDMの共重合組成分析 (豊田合成) 北瀬 恵
- ◇P&T-GC/MSによる高分子材料中過酸化物架橋剤および加硫促進剤の分析 (フジクラ) 鈴木 大輔

### 第366 回例会

2013 年2月19日 ゆうほうと

- ◆エレクトロスプレイ質量分析と高分子 (宇宙航空研究開発機構 (JAXA)) 山下 雅道
- ◆高分子材料に吸着した気体分子をNMR観察してわかること (名古屋工業大学) 吉水 広明
- ◇抗体磁性ビーズを併用したMALDI-MSおよび反応熱分解-GC/MSによる細菌中の脂質分析-  
(中部大学) 石田 康行
- ◇イメージングマスを用いた有機材料の解析 (旭化成) 佐藤 幸司

### 第367 回例会

2013 年4月25日 ゆうほうと

◎ 2013年度総会

- ◆企業の分析部門の目指すところ (花王) 脇阪 達司
- ◆異種固体界面における高分子鎖の凝集状態とダイナミクス (九州大学) 田中 啓二
- ◇量子ビームを用いた高分子の構造・物性研究 (住友化学) 桜井 孝至
- ◇アルゴンガスクラスタターイオンを用いたTOF-SIMS深さ方向分析 (日東分析センター) 前野 直人

### 第368 回例会 (夏期合宿)

2013 年7月5・6日 ホテルサンシャイン青山 (姫路市) /SPring-8

【セッション1: 講演】

- ◆線形分光法の基礎と薄膜の構造解析 (京都大学) 長谷川 健
- ◆X線を用いた有機材料の構造解析 (京都工芸繊維大学) 西川 幸宏
- ◆舞台裏から見たプラスチックの開発の歴史 (スペクトラ・フォーラム) 高山 森

【セッション2: パネルディスカッション】

◎ 高分子の諸問題について

【セッション3: 講演】

- ◆分析技術に支えられる最先端高分子材料—植物由来接着剤

(九州工業大学) 金子 大作

- ◆脂質結晶多形の基礎と応用 (広島大学) 上野 聡
- ◆多変量スペクトル分解法 (MCR) による生体組織TOF-SIMSデータの解析  
(島根大学) 青柳 里果

【オプション企画：SPring-8見学会】

#### 第369 回例会

2013 年11 月6 日 ゆうほうと

- ◆X線・中性子をプローブとする微小角入射散乱法による高分子薄膜・界面構造解析  
(三重大学) 鳥飼直也
- ◆エネルギー分解イオンモビリティー質量分析を用いたイオン異性体の検出と分子構造解析  
(理化学研究所) 本郷やよい
- ◇質量分析による器具からのコンタミネーション解析 (日本合成化学) 西本ゆかり
- ◇透過型電子顕微鏡 (TEM) による形態・組成分析および三次元構造解析  
(三井化学分析センター) 土屋敏彦

#### 第370 回例会

2014 年1 月21 日 ウィンクあいち (名古屋市)

- ◆ラマン分光法による有機材料の構造解析 (東レリサーチセンター) 村木直樹
- ◆結晶スポンジ法による非結晶性・極少量化合物のX線結晶構造解析 (東京大学) 藤田誠
- ◇TOF-SIMSによるポリジメチルシロキサンの分子量評価法の確立 (豊田中央研究所) 菅沼義勇
- ◇高分子分析のためのオンライン熱分解ー高速液体クロマトグラフィー直結システムの開発  
(名古屋工業大学) 加納裕久

#### 第371 回例会

2014 年3 月5 日 ゆうほうと

- ◆カチオン性ポリマーを例とした酸化還元不活性な薬剤の電気分析化学 (福井県立大学) 片野 肇
- ◆ポリ乳酸の立体規則性解析 (帝人) 菅沼 こと
- ◇MALDI-TOF-MS による高分子材料中の添加剤の直接分析 (旭化成) 山端 祐介
- ◇TEOS分解GC/MS法を中心としたシリコン化合物の構造分析 (日本化薬) 星 貴洋

#### 第372 回例会

2014 年4 月21 日 ゆうほうと

◎ 2014年度総会

- ◆精密質量分析による高分子化合物のキャラクタリゼーション (産業技術総合研究所) 佐藤 浩昭
- ◆接着・粘着界面の構造と熱的性質 (静岡大学) 田坂 茂
- ◇赤外分光と多変量解析を組み合わせた化粧品の品質評価事例の紹介 (資生堂) 中谷 善昌
- ◇HPLC/コロナCAD測定による工業材料の分析 (コニカミノルタ) 田中 薫

### 第373 回例会 (夏期合宿)

2014 年7月4・5日 ラフォーレ倶楽部 伊東温泉

#### 【セッション1：講演】

◆ラテックスNMR法およびFG-FMAS固体NMR法によるゴム状高分子の構造解析  
(長岡技術科学大学) 河原 成元

◆形態観察、局所分析のための試料作製－意外と知らない試料前処理－  
(ライカマイクロシステムズ) 長澤 忠広

#### 【セッション2：分科会】

◎ A 分科会：NMR [ショートプレゼン：(旭硝子) 中村 有希]

◎ B 分科会：形態観察 [ショートプレゼン：(三菱レイヨン) 伊藤 純]

◎ C 分科会：高分子分析の諸問題 [ショートプレゼン：(日本合成化学) 西本 ゆかり]

#### 【セッション3：各分科会のまとめ報告】

#### 【セッション4：講演】

◆ダイセル・エポニックの高分子の異種材料接着技術について (ダイセル・エポニック) 六田 充輝

◆ポリマー1分子の直視：高分子鎖一本のイメージングと顕微機能解析  
(北陸先端科学技術大学院大学) 篠原 健一

### 第374 回例会

2014 年9月11日 京都リサーチパーク

◆連鎖重合のシーケンス制御に挑む分子設計 (京都大学) 大内 誠

◆超臨界流体クロマトグラフィー質量分析の代謝プロファイリングへの応用 (大阪大学) 和泉 自泰

◇リチウムイオン二次電池の電極中バイнда分布の数値化 (日立マクセル) 渡邊 英明

◇多機能熱分解装置を用いたアプリケーション紹介 (フロンティア・ラボ) 渡辺 壱

### 第375 回例会

2014 年12月10日 ゆうほうと

◆エレクトロスプレーイオン化法における化合物の物性とイオン収量の関係の評価  
(北陸先端科学技術大学院大学) 大坂 一生

◆100nm以下空間分解能局所赤外分光分析法の現状と応用  
(日本サーマルコンサルティング) 浦山 憲雄

◇イオン液体を用いたカラーコンタクトレンズのSEM観察 (メニコン) 伴野 佳弘

◇皮膚洗浄における水溶性カチオン化高分子の機能の分析化学的な検証 (ライオン) 河野 美樹

### 第376 回例会

2015 年2月26日 ウィンクあいち (名古屋市)

◆核反応法による水素の分析 (東京大学) 福谷 克之

◆複合材料の接着技術に関する最近の話題 (東京工業大学) 佐藤 千明

◇GC/MSの多変量解析とパルスNMRを組み合わせたABS樹脂の組成分析 (豊田合成) 北瀬 恵

◇ゴム材料分析におけるパルスNMRの活用 (TRIテクノ) 大磯 佑介

### 第377 回例会

2015 年5月19日 主婦会館プラザエフ

◎ 2015年度総会

◆雑学と高分子研究懇談会 (ロンビック) 後藤 幸孝



- ◆ブロックPPの構造解析と材料特性の関係 (豊田合成) 渡辺 健市
- ◇熱分解GC×GC-MSと分子シミュレーションによる透明樹脂材料の黄変原因分析 (日立化成) 岩本 浩介
- ◇高分子材料の品質保証におけるMALDI-TOFMS分析の活用 (矢崎総業) 北田 幸男

#### 第378 回例会 (夏期合宿)

2015 年7月10・11日 花王 エコラボミュージアム/和歌山マリーナシティ/わかやま館  
【オプション企画: 花王 エコラボミュージアム見学】

【セッション1: 講演】

- ◆SIMS法による有機材料分析技術の新展開~局所分析から3Dイメージングまで~ (京都大学) 松尾 二郎

【セッション2: 分科会】

- ◎ A 分科会: 表面・界面解析 [ショートプレゼン: (住友化学) 栗林 浩]
- ◎ B 分科会: ゴム構造解析 [ショートプレゼン: (帝人) 菅沼 こと]
- ◎ C 分科会: 高分子の諸問題 [ショートプレゼン: (日本発条) 永坂 一成]
- ◎ 各分科会のまとめ報告

【セッション3: 講演】

- ◆皮膚セラミドの網羅解析及び毛髪之最表面解析研究 (花王) 岡本 昌幸
- ◆広幅NMRとESRでゴム材料の何が見える? (東京理科大学) 伊藤 眞義

#### 第379 回例会

2015 年9月30日 ウィンクあいち (名古屋市)

- ◆環状高分子ならびにその同族体の高分解能HPLCによる精密分析 (名古屋大学) 高野 敦志
- ◆ポリマーアロイにおける構造-物性制御 (東京工業大学) 扇澤 敏明
- ◇ヤモリテープによるPy-GC/MSに有用な新規サンプル保持法 (都立産業技術研究センター) 神谷 嘉美氏
- ◇凍結切断レプリカ法による液中分散微粒子の電子顕微鏡解析 (日本電子) 中山 智香子

#### 第380 回例会

2015 年12月10日 明治大学紫紺館

- ◆高分子材料の劣化およびその反応解析について (京都工芸繊維大学) 坂井 互
- ◆表面増強赤外吸収分光 - 何に使える? (北海道大学) 大澤 雅俊
- ◇示差屈折率増分とSEC測定 (星光PMC) 外城 稔雄
- ◇NMRによる高分子分析: 最近の研究例 (三菱化学) 松原 康史

#### 第381 回例会

2016 年2月22日 新大阪丸ビル別館

- ◆化学分析力の活かし方-企業内の分析・解析で最大の貢献を果たすには- (米森技術士事務所/(元)旭硝子) 米森 重明
- ◆放射光軟X線分光による有機材料の精密状態分析 (兵庫県立大学) 村松 康司
- ◇高速高分離GPC/MSを用いた材料中低分子化合物の分析 (出光興産) 鳥居 孝洋氏
- ◇ポリオレフィンの分子構造解析における進展 (日本ポリケム) 坂田 和也

### 第382 回例会

2016 年4 月25 日 主婦会館プラザエフ

◎ 2016年度総会

◆L-LDPEの構造物性解析から材料開発へー典型的な20世紀型R&Dの事例としてー

(京都工芸繊維大学／(元)住友化学) 細田 覚

◆高分子の熱伝導～国際標準と熱イメージング法によるマイクロ可視化熱分析・熱物性測定～

(東京工業大) 森川 淳子

◇劣化判別に対する結晶化温度の活用 (スターライト工業) 小野 美奈

◇NMRによるゴムの分析 (住友ゴム工業) 小森 佳彦

### 第383 回例会 (夏期合宿)

2016 年7 月1・2 日 理化学研究所 (和光地区) /ラフレさいたま

【オプション企画：理化学研究所 (和光地区)】

【セッション1：講演】

◆HPLC法を用いた共重合体の組成分布解析 (東ソー分析センター) 香川 信之

◆NMRによる分散ナノ粒子と有機化合物の相互作用解析 (福井大学) 鈴木 悠

【セッション2：分科会】

◎ A 分科会：NMR [ショートプレゼン：本間脩 (AGC 旭硝子)]

◎ B 分科会：分離分析 [ショートプレゼン：柿内俊文 (AGC 旭硝子)]

◎ C 分科会：高分子の諸問題 [ショートプレゼン：朽名陽平 (アイセロ)]

【セッション3：各分科会のまとめ報告】

【セッション4：講演】

◆放射光マイクロビームを用いた科学捜査のための高分子分析 (高知大学) 西脇 芳典

◆有機デバイスの電子スピン共鳴分光による研究 (筑波大学) 丸本 一弘

### 第384 回例会

2016 年9 月5 日 明治大学紫紺館

◆全原子を測定対象とする次世代型核磁気共鳴 (NMR) 装置の開発 (高知大学) 山田 和彦

◆可搬型ラマンイメージング装置の現状と応用 (エス・ティ・ジャパン) 落合 周吉

◇Py-GC/MSを対象としたヤモリテープによる微量粉末試料の新規サンプリング手法の開発

(明治大学) 永井 義隆

◇ポリプロピレン複合材料の構造解析・組成分析技術 (UBE科学分析センター) 宮内 康次

### 第385 回例会

2016 年12 月5 日 新大阪丸ビル別館

◆赤外/近赤外分光イメージング法・高速チップカロリメトリ法の高分子成形評価への応用

(京都大学) 引間 悠太

◆高分子反応で得られる共重合体の連鎖解析と連鎖制御 (徳島大学) 右手 浩一

◇EO/PO鎖含有モノメタクリレートを原料としたポリマーの粘度変動要因解析

(AGCセイケミカル) 今福 陽子

◇「断つ・保つ」製品におけるガス分析ーゴムパッキンと断熱材料を例としてー

(ニチアス) 橋本 知美

### 第386 回例会

2016 年2月15日 明治大学紫紺館

- ◆DSCと散乱法を用いた高分子の結晶高次構造の分析 (東京農工大学) 斎藤 拓
- ◆電子顕微鏡による高分子界面の解析と接着メカニズム (産業技術総合研究所) 堀内 伸
- ◇木材の分析 (タマス) 丹羽 明彦 氏
- ◇SBF-SEM法によるジブロックコポリマーの三次元再構築 (日本電子) 山口 祐樹

### 第387 回例会

2017 年4月21日 明治大学紫紺館

◎2017年度総会

- ◆撥水性シランコーティングの静的・動的撥水性とその応用 (東京工業大学) 中島 章
- ◆SALDI やESIイオン化を利用した新規MSイメージング (関西大学) 荒川 隆一
- ◇樹脂中の赤リン分析 (住友電気工業) 飯田 益大
- ◇赤外pMAIRS法によるシランカップリング処理基板上のポリチオフェン膜の分子配向解析 (住友ゴム工業) 小森 佳彦

### 第388 回例会 (夏期合宿)

2017 年7月7・8日 スーパーコンピュータ京/アリストンホテル神戸

【オプション企画:スーパーコンピュータ京】

【セッション1:講演】

- ◆セルロースナノファイバー/高分子のナノ複合化と材料特性 (森林総合研究所) 藤澤 秀次
- ◆SEMによる高分子材料の構造評価 (旭化成) 乙部 博英
- ◆低燃費タイヤ開発への放射光X線と中性子線の相補活用 (住友ゴム工業) 岸本 浩通

【セッション2:パネルディスカッション】

◎高分子分析の諸問題

【セッション3:海外学会報告】

- ◆海外学会に参加しませんか? (徳島大学) 平野 朋広

【セッション4:講演】

- ◆企業における研究技術者のキャリア形成~会社生活を振り返って~ (元ブリヂストン) 加藤 信子
- ◆電気泳動法およびイオンモビリティ質量分析法による合成高分子分析法の開発 (名古屋工業大学) 北川 慎也

### 第389 回例会

2017 年9月13日 オフィスパーク名駅プレミアホール

特集 赤外・ラマン分析

- ◆赤外分光法とケモメトリックスを組み合わせた含水高分子の分析 (大阪電気通信大学) 森田 成昭
- ◆赤外・ラマン分光法による高分子構造・物性解析 (福井大学) 前田 寧
- ◇MALDI-MSイメージングによる高分子材料中の安定剤の分布及び状態分析 (名古屋工業大学) 端崎 里帆
- ◇高分子材料に関する受託研究・試験サービスのご紹介 (DJK) 加藤 健太

### 第390 回例会

2017 年12月13日 明治大学紫紺館

特集 人工知能AI

◆帰納的・演繹的計算科学アプローチとしての機械学習とシミュレーション

(理化学研究所) 菊地 淳

◆質量分析器データの多次元データ解析による香り印象の予測・再現 (東京工業大学) 中本 高道

◆理論分子科学と京コンピュータ (理化学研究所) 中嶋 隆人

◇緩和時間測定と分子動力学シミュレーションを用いた易接着フィルムのなじみ性発現機構解析

(日立化成) 岩本 浩介

◇有機化合物のスペクトルデータベース (SDBS) - 利便性の向上を目指した取り組み -

(産業技術総合研究所) 齋藤 剛

第391 回例会

2018 年2月9日 新大阪丸ビル新館

特集 劣化

◆等変化率法に基づく高分子熱反応の速度論的解析 (群馬大学) 黒田 真一

◆劣化反応を利用した知能化リサイクル法の開発 (長崎大学) 中谷 久之

◇高分子材料の耐久性に関する新しい評価法の試み (神奈川大学) 大石 不二夫

◇ポリ塩化ビニルおよびポリカーボネートの化学構造変化に及ぼすアミンの影響

(豊田中研) 加藤 雄一

第392 回例会

2018 年5月11日 明治大学紫紺館

◎ 2018年度総会

◆芳香族ポリマーの光・電子・熱機能化のための新しい高分子特性解析法 (東京工業大学) 安藤 慎治

◆日本の大学教育の問題点 (元東京農工大学・高知大学) 佐藤 壽彌

◇振動分光法を用いた有機薄膜の分子配向解析 (日産化学工業) 松原 功達

◇四重極型MSにおけるMassWorksソフトウェアを用いる化合物の組成式推定

(アジレント・テクノロジー) 中村 貞夫

第393 回例会 (夏期合宿)

2018 年7月6・7日 富士フイルム先進研究所/天成園 (箱根)

【セッション1: 講演】

◆フルオラス性の発現機構 (京都大学) 長谷川 健

◆高分子材料の定量的劣化分析法 (化学物質評価研究機構) 仲山 和海

【セッション2: 特別企画】

◎高分子分析の諸問題 - 日頃の疑問にお答えします - (高分子分析研究懇談会 企画委員会)

【セッション3: 講演】

◎ A 分科会: 劣化解析

◎ B 分科会: 分光分析 (ケモメトリックス含む)

◎ C 分科会: その他

【セッション4: 分科会報告】

【セッション5: 講演】

◆富士フイルムにおける光反応解析事例 - 銀塩感材からフォトポリマー, ライフサイエンスまで -

(富士フイルム) 宮下 陽介

◆プラスチック、ゴム製品のバイオベース度の加速器質量分析(AMS)法による測定法とそのISO国際標準 (産業技術総合研究所) 国岡 正雄

### 第394 回例会

2018 年9月26日 新大阪丸ビル別館

- ◆ESR分光法を駆使した高分子由来短寿命ラジカルの構造と反応機構に関する研究  
(京都工芸繊維大学) 田嶋 邦彦
- ◆反応性高分子の分子設計と易解体性接着材料への応用 (大阪市立大学) 佐藤 絵理子
- ◇銀ナノ粒子を用いためっき膜の表面分析事例の紹介 (DIC) 堀田 康伸
- ◇電子顕微鏡を用いた高分子材料の評価技術 (カネカテクノリサーチ) 藤本 亜由美

### 第395 回例会

2018 年12月10日 明治大学紫紺館

特集 劣化解析

- ◆酸・アルカリ環境におけるFRP機器の劣化解析と腐食劣化のセンシング  
(東京工業大学) 久保内 昌敏
- ◆高分子材料の劣化反応とラジカル種の解析 (京都工芸繊維大学) 坂井 互
- ◆ポリウレタンの構造・物性と劣化 (長崎大学名誉教授) 古川 睦久
- ◇高分子-ナノカーボン複合材の劣化解析 (産業技術総合研究所) 山根 祥吾

### 第396 回例会

2019 年2月22日 オフィスパーク名駅プレミアホール

- ◆樹脂/金属接着界面の疲労破壊挙動および強度評価 (名城大学) 清水 憲一
- ◆セルロースナノファイバー材料開発動向とペーパーデバイス応用の紹介 (大阪大学) 能木 雅也
- ◇質量分析を駆使した高分子材料の一次構造解析事例紹介 (AGC) 石塚 圭
- ◇容器包装分野における分光分析法の活用 (東洋製罐) 谷川 弥和子

### 第397 回例会

2019 年5月10日 グローバルホール

◎ 2019年度総会

- ◆高分子界面の構造解析と接着 (神戸大学) 松本 拓也
- ◆ナノ光学顕微鏡による高分子の構造解析 (J-PARC センター) 青木 裕之
- ◇レオ・オプティカル近赤外分光法によるメソポーラスシリカ含有高分子複合材料の強度向上メカニズムの解明  
(産業技術総合研究所) 渡邊 亮太
- ◇透過型電子顕微鏡を用いた高分子材料の観察事例～水系樹脂エマルジョンの固定方法について～  
(三洋化成) 山崎 有香

### 第398 回例会 (夏期合宿)

2019 年7月12・13日 東レ、東レリサーチセンター/琵琶湖グランドホテル

【セッション1: 講演】

- ◆データサイエンスによる高機能材料の研究・開発・製造の支援 (明治大学) 金子弘昌
- ◆データ駆動型アプローチ、材料科学における実践 (北陸先端科学技術大学院大学) 谷池 俊明
- ◆分析機器の進歩と高分子分析における私の歩み (エフ・シー・アイ) 大関 博
- ◆高分子劣化解析 (神奈川大学) 西本右子

【セッション2: 分科会】

- ◎ A 分科会: 計算化学
- ◎ B 分科会: 劣化解析

◎ C 分科会：その他

【セッション 3：各分科会のまとめ報告】

【セッション 4：講演】

◆分析機器の進歩と高分子分析における私の歩み (エフ・シー・アイ) 大関 博

◆高分子劣化解析 (神奈川大学) 西本右子

#### 第 399 回例会

2019 年 10 月 3 日 新大阪丸ビル別館

◆水溶性高分子の一次構造と熱応答性 (福岡大学) 勝本 之晶

◆溶液NMRによる構造解析：帰属と構造情報基礎から高分子を中心とした応用研究2  
(理化学研究所) 越野 広雪

◆ラベル・プローブ法による高分子材料の局所物性解析 (岐阜大学) 三輪 洋平

◇自社(自己)紹介プレゼン (日華化学) 山腰 亮子

#### 第 400 回例会

2020 年 1 月 28 日 明治大学紫紺館

◆重量平均分子量20万から1500万の合成高分子のDOSY測定 (徳島大学) 右手 浩一

◇カソードルミネッセンス(CL)を用いた高分子劣化の新しい検出法の開発 小池 紘民

◆私の研究歴 (AGCエスアイテック) 山本 清

◆歴史の舞台裏：ポリエチレンとポリプロピレンはどのようにして生まれたか

(スペクトラ・フォーラム) 高山 森

第401 回例会 (第1部)

2020年8月5日 オンライン開催(Webex meetings)

- ◆講演反応熱分解GCによる共重合型ポリヒドロキシアルカノエートの2連子分布の解析  
(中部大学) 石田 康行

第401 回例会 (第2部)

2020年8月21日 オンライン開催(Webex meetings)

- ◆プラスチックを取り巻く状況およびリサイクルにおける高分子分析の重要性  
(東北大学) 熊谷 将吾

第402 回例会

2020年10月21日 オンライン開催(Webex meetings)

- ◆高分子分光学のフロンティア～遠紫外からテラヘルツまで (関西学院大学) 尾崎 幸洋

第403 回例会

2020年1月27日 オンライン開催(Webex meetings)

- ◆複雑流体流動挙動の階層性を誘発する溶液内部の不均一さ (神戸大学) 日出間 るり
- ◆反応熱分解GC-MSによる強固な架橋構造を有する紫外線硬化アクリレート共重合体の組成及び構造解析 (名古屋工業大学) 加藤 章太郎

## B 日本分析化学会における講演会

### 第60年会

2011年9月16日 名古屋大学東山キャンパス

◇食品中のアクリルアミド生成に及ぼす多糖の影響 (中部大学) 堤内 要

### 第61年会

2012年9月19日 金沢大学角間キャンパス

◇分析化学を基礎としたポリマー添加剤創製の試み (福井県立大学) 片野 肇

### 第62年会

2013年9月12日 近畿大学東大阪キャンパス

ナノ微粒子支援型質量分析 (Nano-PALDI MS)の生体分析および可視化 (福井県立大学) 平 修

### 第63年会

2014年9月19日 広島大学 東広島キャンパス

NMRスペクトルの多変量解析による合成高分子の一次構造解析 (徳島大学) 平野 朋広

### 第65年会

2016年9月14日 北海道大学工学部

電気泳動法およびイオンモビリティ質量分析法による合成高分子分析法の開発

(名古屋工業大学) 北川 慎也

### 第66年会

2017年9月11日 東京理科大学葛飾キャンパス

漆に関わる様々な分析～漆の硬化と手法の変化について～ (明治大学) 本多 貴之

### 第67年会

2018年9月12日 東北大学川内北キャンパス

環境科学に立脚した高分子の熱分解反応解析 (東北大学) 熊谷 将吾

### 第68年会

2019年9月12日 千葉大学西千葉キャンパス

含水高分子の赤外分光分析とPythonを用いたケモメトリックス・機械学習

(大阪電気通信大学) 森田 成昭

### 第69年会

2020年9月18日 オンライン開催(Webex meetings)

高分子電解質の分析から高分子電解質を用いた電気化学デバイス (豊橋技術科学大学) 服部 敏明



## C 高分子分析討論会

### 第16回高分子分析討論会

2011年10月26・27日 工学院大学新宿キャンパス

実行委員長：(日産化学) 小澤 智行

#### ◆特別講演

光散乱法を用いた分岐高分子のキャラクタリゼーション (山形大学) 川口 正剛

高分子材料の三次元微細構造観察・解析 (科学技術振興機構/九州大学) 陣内 浩司

#### ◆一般発表 82件

参加者 305名

### 第17回高分子分析討論会

2012年10月25・26日 名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)

実行委員長：(カネカテクノリサーチ) 出口 義国

#### ◆特別講演

高分子表面の機能化とキャラクタリゼーション (神戸大学) 西野 孝

#### ◎レビュー講演

「高分子分析討論会における分析技術の動向」(中部大学) 石田康行(司会)

NMR：(帝人) 松田 裕生、質量分析：(産業技術総合研究所) 佐藤 浩昭、

分光分析：(旭硝子) 鈴木俊夫

#### ◆一般発表 64件

参加者 313名

### 第18回高分子分析討論会

2013年9月19・20日 明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン

実行委員長：(機械技術振興協会) 川口 聖司

#### ◆特別講演

3次元蛍光 X 線分析法の基礎と高分子材料分析への応用 (大阪市立大学) 辻 幸一

漆の文化と科学分析 (明治大学) 宮腰 哲雄

#### ◆一般発表 84件

参加者 328名

### 第19回高分子分析討論会

2014年10月16・17日 名古屋国際会議場 白鳥ホール

実行委員長：(豊田中央研究所) 光岡 拓哉

#### ◆特別講演

高分子材料の素顔を眺める (三菱化学) 佐野 博成

ものづくりの未来を拓く感性と科学の共創～伝統技術の計測とシミュレーションから活用展開へ～

(京都工芸繊維大学) 黒田 孝二

#### ◆一般発表 95件

参加者 313名

#### 第20 回高分子分析討論会

2015 年 10 月 27・28 日 つくば国際会議場  
実行委員長：(産業技術総合研究所) 衣笠 晋一

##### ◆ 特別講演

3Dプリンターと高分子～3Dゲルプリンターから展開するデジタルファブの社会実装～

(山形大学) 古川 英光

新たな事業の創出を目指して～新事業促進部の取組とスピンオフ事例～

((宇宙航空研究開発機構 (JAXA)) 二俣 亮介

##### ◆ 一般発表 86 件

参加者 371 名

#### 第21 回高分子分析討論会

2016 年 10 月 20・21 日 名古屋国際会議場  
実行委員長：(中部大学) 石田 康行

##### ◆ 特別講演

高分子分析討論会 20年の歩みを未来志向で振り返る (スペクトラフォーラム/元三菱化学) 高山 森高

##### ◎総合討論

「高分子分析の次の10年 さらなる一歩」(中部大学)石田 康行 (司会)

パネラー：(帝人)菅沼 こと、(日本電子)佐藤 崇文、(明治大学)本多 貴之、(産業技術総合研究所)松山 重倫

##### ◆ 一般発表 93 件

参加者 349 名

#### 第22 回高分子分析討論会

2017 年 10 月 12・13 日 つくば国際会議場  
実行委員長：(産業技術総合研究所) 松山 重倫

##### ◆ 特別講演

高分子分析と研究開発 (元ブリヂストン) 加藤 信子

強磁場固体NMRの開発と材料分析への応用 (物質・材料研究機構) 清水 禎

##### ◆ 一般発表 86 件

参加者 332 名

#### 第23 回高分子分析討論会

2018 年 10 月 11・12 日 名古屋国際会議場  
実行委員長：(東ソー分析センター) 香川 信之

##### ◆ 特別講演

セルロースナノファイバー—脱炭素社会における持続型材料— (京都大学) 矢野 浩之

ゴム・プラスチックの水劣化と耐久性 (化学物質評価研究機構) 大武 義人

##### ◆ 一般発表 93 件

参加者 361 名

#### 第24 回高分子分析討論会

2019 年 10 月 24・25 日 つくば国際会議場  
実行委員長：(産業技術総合研究所) 佐藤 浩昭

##### ◆ 特別講演

建築高分子材料の耐久性と劣化に関する近年の研究および社会的動向（北海道大学）北垣 亮馬  
生分解性プラスチック、バイオマスプラスチックのISO 標準化動向（産業技術総合研究所）国岡 正雄

◆ 一般発表 101 件

参加者 361 名

#### 第25 回高分子分析討論会

2020 年 11 月 5・6 日 オンライン開催(Webex meetings)

実行委員長：(徳島大学) 平野 朋広

◆ 招待講演

レーザーピンセットを駆使する高分子水溶液の顕微分光分析（大阪市立大学）坪井 泰之  
特異な分解反応を利用する不溶性架橋高分子の三次元ネットワーク構造解析

（名古屋工業大学）大谷 肇

◆ 一般発表 55件

参加者 224 名

## D 講習会

### 第43回高分子分析技術講習会：平成23年度前期

2011年8月29・30日 名古屋工業大学 受講者：65名

- ◇ 高分子分析概論 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (三菱化学アナリティック) 高山 森
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (中部大学) 石田 康行
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生

### 第44回高分子分析技術講習会：平成23年度後期

2012年3月8・9日 工学院大学新宿キャンパス 受講者：57名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (三菱化学アナリティック) 高山 森
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析(応用編) (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (帝人) 永阪 文惣
- ◇ 総合分析(1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析(2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成テクノサービス) 野本 雅弘

### 第45回高分子分析技術講習会：平成24年度前期

2012年9月5・6日 工学院大学新宿キャンパス 受講者：63名

- ◇ 高分子分析概論 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (三菱化学アナリティック) 高山 森
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (中部大学) 石田 康行
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生

### 第46回高分子分析技術講習会：平成24年度後期

2013年3月6・7日 工学院大学新宿キャンパス 受講者：43名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (スペクトラ・フォーム) 高山 森
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析(応用編) (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (帝人) 永阪 文惣
- ◇ 総合分析(1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析(2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成テクノサービス) 野本 雅弘

第47回高分子分析技術講習会：平成25年度前期

2013年9月4・5日 工学院大学新宿キャンパス 受講者：52名

- ◇ 高分子分析概論 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (三菱化学アナリティック) 高山 森
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (中部大学) 石田 康行
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (帝人) 松田 裕生

第48回高分子分析技術講習会：平成25年度後期

2014年3月6・7日 工学院大学新宿キャンパス 受講者：48名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (スペクトラ・フォーム) 高山 森
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析(応用編) (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (帝人) 永阪 文惣
- ◇ 総合分析(1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析(2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成テクノサービス) 野本 雅弘

第49回高分子分析技術講習会：平成26年度前期

2014年8月28・29日 工学院大学新宿キャンパス 受講者：49名

- ◇ 高分子分析概論 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (徳島大学) 押村 美幸
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (中部大学) 石田 康行
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (三菱化学アナリティック) 高山 森

第50回高分子分析技術講習会：平成26年度後期

2015年3月5・6日 工学院大学新宿キャンパス 受講者：51名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (スペクトラ・フォーム) 高山 森
- ◇ サイズ排除クロマトグラフィーによる高分子分析(応用編) (三菱化学アナリティック) 後藤 幸孝
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (徳島大学) 平野 朋広
- ◇ 総合分析(1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析(2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成テクノサービス) 野本 雅弘

第51回高分子分析技術講習会：平成27年度前期

2015年8月27・28日 工学院大学新宿キャンパス 受講者：58名

- ◇ 高分子分析概論 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (徳島大学) 押村 美幸
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (中部大学) 石田 康行
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (工学院大学) 川井 忠智
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (三菱化学アナリティック) 高山 森

第52 回高分子分析技術講習会：平成 27 年度後期

2016 年 3 月 15・16 日 工学院大学新宿キャンパス 受講者：45 名

- ◇ 赤外吸収分光法の応用 (スペクトラ・フォーム) 高山 森
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析(応用編) (東ソー分析センター) 香川 信之
- ◇ 総合分析 (1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (徳島大学) 平野 朋広
- ◇ 総合分析 (2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成) 海野 晶浩

第53 回高分子分析技術講習会：平成 28 年度前期

2016 年 8 月 29・30 日 名古屋工業大学 受講者：47 名

- ◇ 高分子分析概論 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 高分子の熱分析と熱物性 (東京工業大学) 森川 淳子
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (徳島大学) 押村 美幸
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (中部大学) 石田 康行
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (工学院大学) 川井 忠智
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (京都大学) 長谷川 健

第54 回高分子分析技術講習会：平成 28 年度後期

2017 年 3 月 6・7 日 名古屋工業大学 受講者：47 名

- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析(応用編) (東ソー分析センター) 香川 信之
- ◇ 高分子の熱分析と熱物性(応用編) (住化分析センター) 雫石 拓也
- ◇ 赤外分光法による高分子分析(応用編) (三井化学分析センター) 黒田 崇之
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (徳島大学) 平野 朋広
- ◇ 総合分析 (1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析 (2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成) 海野 晶浩

第55 回高分子分析技術講習会：平成 29 年度前期

2017 年 8 月 28・29 日 明治大学駿河台キャンパス 受講者：55 名

- ◇ 高分子分析概論 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析 (中部大学) 石田 康行
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析 (徳島大学) 平野 朋広
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析 (工学院大学) 川井 忠智
- ◇ 高分子の熱分析と熱物性 (東京工業大学) 森川 淳子
- ◇ 赤外分光法による高分子分析 (京都大学) 長谷川 健

第56 回高分子分析技術講習会：平成 29 年度後期

2018 年 3 月 6・7 日 明治大学駿河台キャンパス 受講者：47 名

- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析(応用編) (東ソー分析センター) 香川 信之
- ◇ 高分子の熱分析と熱物性(応用編) (住化分析センター) 雫石 拓也
- ◇ 赤外分光法による高分子分析(応用編) (三井化学分析センター) 黒田 崇之
- ◇ 核磁気共鳴分光法 (徳島大学) 平野 朋広
- ◇ ガスクロマトグラフィー/質量分析法による高分子分析の実用例 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 総合分析 (1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析 (2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成) 海野 晶浩

第57 回高分子分析技術講習会：平成 30 年度前期

2018 年 8 月 27・28 日 明治大学駿河台キャンパス 受講者：70 名

- ◇ 高分子分析概論 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 赤外分光法による高分子分析：基礎編 (京都大学) 長谷川 健
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析：基礎編 (徳島大学) 平野 朋広
- ◇ 高分子の熱分析と熱物性：基礎編 (昭和大学) 本田 英彦
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析：基礎編 (工学院大学) 川井 忠智
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析：基礎編 (中部大学) 石田 康行

第58 回高分子分析技術講習会：平成 30 年度後期

2019年3月6・7日 明治大学駿河台キャンパス 受講者：59 名

- ◇ 赤外分光法による高分子分析：応用編 (三井化学分析センター) 黒田 崇之
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析：応用編 (東ソー分析センター) 香川 信之
- ◇ 高分子の熱分析と熱物性：応用編 (広島大学) 戸田 昭彦
- ◇ 核磁気共鳴分光法による高分子分析：測定編 (三菱ケミカル) 百瀬 陽
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析：実用編 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 総合分析 (1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 総合分析 (2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (日立化成) 海野 晶浩

第59 回高分子分析技術講習会：令和元年度前期

2019 年 9 月 5・6 日 明治大学駿河台キャンパス 受講者：66 名

- ◇ 高分子分析概論 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析：基礎編 (中部大学) 石田 康行
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析：基礎編 (徳島大学) 平野 朋広
- ◇ 高分子の熱分析と熱物性：基礎編 (昭和大学) 本田 英彦
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析：基礎編 (工学院大学) 川井 忠智
- ◇ 赤外分光法による高分子分析：基礎編 (京都大学) 長谷川 健

第60 回高分子分析技術講習会：令和元年度後期

2020 年 3 月 4・5 日 明治大学駿河台キャンパス ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大により中止

第61高分子分析技術講習会：令和2年度前期

2020年9月24・25日 オンライン開催(Webex meetings) 受講者：59名

- ◇ 高分子分析概論 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 高分子分析のための前処理技術 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析：基礎編 (中部大学) 石田 康行
- ◇ 核磁気共鳴法による高分子分析：基礎編 (徳島大学) 押村 美幸
- ◇ 高分子の熱分析と熱物性：基礎編 (昭和大学) 本田 英彦
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析：基礎編 (東ソー分析センター) 香川 信之
- ◇ 赤外分光法による高分子分析：基礎編 (京都大学) 長谷川 健

第62回高分子分析技術講習会：令和2年度後期

2021年3月9・10日 オンライン開催(Webex meetings) 受講者：65名

- ◇ ガスクロマトグラフィー及び質量分析法による高分子分析：実用編 (名古屋工業大学) 大谷 肇
- ◇ 赤外分光法による高分子分析：応用編 (ジャパン・リサーチラボ) 奥村 治樹
- ◇ 核磁気共鳴分光法による高分子分析：応用編 (帝人) 菅沼 こと
- ◇ 総合分析(1)：高分子材料の有機組成分析 (東レリサーチセンター) 佐藤 信之
- ◇ 液体クロマトグラフィーによる高分子分析：応用編 (東ソー分析センター) 香川 信之
- ◇ 高分子材料の熱分析：応用編 (三井化学分析センター) 花本 康弘
- ◇ 総合分析(2)：電子材料・工業材料関連高分子の分析 (昭和電工マテリアルズ) 海野 晶浩



## E 出版

1. 「高分子分析ハンドブック（新装版）」2020年12月（朝倉書店）

## F 運営委員 および 学会事務局

### 1. 運営委員

#### <2011年>

##### 運営委員長

大関 博 旭化成

##### 副運営委員長

香川 信之 東ソー分析センター  
宮内 康次 UBE科学分析センター  
小澤 智行 日産化学  
堤内 要 中部大学

##### 幹事

川口 聖司 機械振興協会  
佐藤 崇文 日本電子  
百瀬 直子 ブリヂストン  
宮田 一司 日立マクセル  
小田桐 佳代 フロンティア・ラボ  
平野 朋広 徳島大学  
片野 肇 福井県立大学  
山本 洋史 クラレ  
平池 修 住ベリサーチ  
光岡 拓哉 豊田中央研究所

#### <2012年>

##### 運営委員長

衣笠 晋一 産業技術総合研究所

##### 副運営委員長

渡辺 健市 豊田合成  
宮内 康次 UBE科学分析センター  
出口 義国 カネカテクノロジーサーチ  
堤内 要 中部大学

##### 運営委員

仲村 仁浩 D I C  
松田 敦子 エニカミルテクノロジー  
百瀬 陽 三菱レイヨン  
中谷 善昌 資生堂  
広瀬 有志 関西ペイント  
平野 朋広 徳島大学  
片野 肇 福井県立大学  
辻 嘉久 クラレ  
平池 修 住ベリサーチ  
光岡 拓哉 豊田中央研究所

#### <2013年>

##### 運営委員長

衣笠 晋一 産業技術総合研究所

##### 副運営委員長

渡辺 健市 豊田合成  
石田 康行 中部大学  
川口 聖司 機械振興協会  
光岡 拓哉 豊田中央研究所

##### 運営委員

仲村 仁浩 D I C  
松田 敦子 エニカミルテクノロジー  
百瀬 陽 三菱レイヨン  
中谷 善昌 資生堂  
広瀬 有志 関西ペイント  
本多 貴之 明治大学  
佐藤 浩昭 産業技術総合研究所  
鎌田 洋平 クラレ  
鈴木 俊夫 旭硝子  
山下 理子 TRIテクノ  
押村 美幸 徳島大学  
平 修 北陸先端科学技術大学

#### <2014年>

##### 運営委員長

佐藤 信之 東レリサーチセンター

##### 副運営委員長

百瀬 陽 三菱レイヨン  
石田康行 中部大学  
光岡 拓哉 豊田中央研究所  
平 修 北陸先端科学技術大学

##### 運営委員

西本 ゆかり 日本合成化学  
高橋 かより 産業技術総合研究所  
星 貴洋 日本化薬  
菅沼 こと 帝人  
曾我部 啓介 カネカテクノロジーサーチ  
本多 貴之 明治大学  
佐藤 浩昭 産業技術総合研究所  
武田 康助 花王  
鈴木 俊夫 旭硝子  
山下 理子 TRI テクノ

<2015年>

運営委員長  
佐藤 信之 東レリサーチセンター  
副運営委員長  
百瀬 陽 三菱レイヨン  
押村 美幸 徳島大学  
衣笠 晋一 産業技術総合研究所  
平 修 北陸先端科学技術大学  
運営委員  
西原 優子 日本合成化学  
高橋 かより 産業技術総合研究所  
星 貴洋 日本化薬  
菅沼 こと 帝人  
曾我部 啓介 カネカテクノリサーチ  
栗林 浩 住友化学  
恩田 光彦 三井化学分析センター  
橋本 知美 ニチアス  
永坂一成 日本発条  
鈴木大輔 フジクラ

<2016年>

運営委員長  
渡辺 健市 豊田合成  
副運営委員長  
菅沼 こと 帝人  
押村 美幸 徳島大学  
石田 康行 中部大学  
本多 貴之 明治大学  
運営委員  
高杉 健 東洋紡  
筒井 拓也 ライオン  
津野 慎治 富士フィルム  
伊藤 賢一 星光PMC  
栗林 浩 住友化学  
恩田 光彦 三井化学分析センター  
橋本 知美 ニチアス  
永坂一成 日本発条  
鈴木大輔 フジクラ

<2017年>

運営委員長  
渡辺 健市 豊田合成  
副運営委員長  
菅沼 こと 帝人  
平野 朋広 徳島大学  
松山 重倫 産業技術総合研究所  
本多 貴之 明治大学  
山本 洋史 クラレ  
運営委員  
深山 健一 東洋紡  
筒井 拓也 ライオン  
津野 慎治 富士フィルム  
梅内 士郎 星光PMC  
雫石拓也 住化分析センター  
小池亮 花王  
坂部輝御 旭化成  
細野寛子 東洋製罐  
小野美奈 スターライト工業

<2018年>

運営委員長  
石田 康行 中部大学  
副運営委員長  
星 貴洋 日本化薬  
平野 朋広 徳島大学  
香川 信之 東ソー分析センター  
本多 貴之 明治大学  
山本 洋史 クラレ  
運営委員  
熊谷 将吾 東北大学  
山根 祥吾 産業技術総合研究所  
柿内 俊文 旭硝子  
日下田 成 東レリサーチセンター  
雫石 拓也 住化分析センター  
小池 亮 花王  
坂部 輝御 旭化成  
細野 寛子 東洋製罐  
小野 美奈 スターライト工業

<2019年>

運営委員長

石田 康行 中部大学

副運営委員長

星 貴洋 日本化薬

百瀬 陽 三菱ケミカル

佐藤 浩昭 産業技術総合研究所

熊谷 将吾 東北大学

橋本 知美 ニチアス

運営委員

齋藤 智哉 出光興産

山根 祥吾 産業技術総合研究所

柿内 俊文 AGC

日下田 成 東レリサーチセンター

篠本 さやか マクセル

野上 知花 アジレント・テクノロジー

森田 成昭 大阪電気通信大学

山腰 亮子 日華化学

<2020年>

運営委員長

香川 信之 東ソー分析センター

副運営委員長

中谷 善昌 資生堂

百瀬 陽 三菱ケミカル

平野 朋広 徳島大

熊谷 将吾 東北大学

橋本 知美 ニチアス

運営委員

齋藤 智哉 出光興産

渡辺 亮太 産総研

黒岩 智佳子 ブリヂストン

神谷 嘉美 金沢大学

篠本 さやか マクセル

野上 知花 アジレント・テクノロジー

森田 成昭 大阪電気通信大

山腰 亮子 日華化学

## 2. 学会事務局

田中 久光 (2006年～)

## G 寄稿

### 1. 高分子分析研究懇談会設立60周年に寄せて (東ソー分析センター) 香川信之

日本分析化学会高分子分析研究懇談会が活動を始めてから60周年を迎えました。ここまでの発展にご尽力いただいた諸先輩方、様々な活動にご協力下さった会員各位に対し、あらためて、感謝申し上げます。

2011年3月9日に、設立50周年記念講演会・祝賀会が開催された際、私は例会担当副委員長として、裏方の一員でした。それから10年が経過して、本来であれば、私が運営委員長だった2020年度に60周年記念行事を開催するはずでした。しかしコロナ禍で対面行事もままならず、遅れること2年余り。今回、やっと記念行事が開催できることとなり、一段と感慨深いものがあります。

私が本研究懇談会の行事に初めて参加したのは、1996年頃の例会だったと認識しています。それから27年、60周年の半分にも届いていませんが、本研究懇談会の居心地の良さに、すっかりはまってしまった一人ではないかと思えます。

この間、本研究懇談会では様々な出来事がありました。その中には、私が直接関わったものもいくつかあります。ここではそれらの中から、企画委員会の設立について、紹介したいと思います。

企画委員会は、2013年度より新設された委員会です。その目的として、当時作成した説明資料には、以下のように記載されています。

「運営委員の任期が2年のため、長期展望に立った活動を行うことが難しく、最近の傾向として、従来の活動がそのまま繰り返されて新しい試みを行うことが難しい。このため、活動がマンネリ化していくことが懸念される。そこで、長期的な視点に立って研究懇談会の活動を計画・立案する組織が必要であると考えられ、この目的のために企画委員会を設置する。」

構成員は、運営委員長経験者と副委員長経験者の中から企画委員長が推薦し、委員の任期についても、運営委員のような2年交代ではなく、あえて明確には規定せず、一応「4年を目処にする」とだけにしてあります。なお、本研究懇談会の運営主体は、あくまで運営委員会であり、企画委員会は、提案組織、ご意見番の位置づけです。従って、企画委員会は運営委員会に対して、提案や提言をしますが、それらに対して、採用の可否は運営委員会が判断します。これまでの企画委員会での採用された提案としては、たとえば第20回高分子分析討論会でのJAXA見学ツアーの実施や、昨年(2019年)の第412回例会で実施したような、例会での見学会開催、分析化学誌の高分子分析特集号刊行、さらに、高分子分析討論会での審査委員賞の審査を企画委員会が主体となって行う、などがあります。その他、いかにして会員を増やすかや、討論会などに関する危機管理対応なども話題には挙がっていますが、具体的な対応が難しく、今後の課題ではないでしょうか。

この企画委員会設立に際してのエピソードを紹介します。2012年のある例会の際、私は、当時の運営委員だった光岡氏(豊田中研)から呼び止められました。

光岡氏：「今度、企画委員会というのを立ち上げることになったんです。」

香川：「ああそうなんですか。」

光岡氏：「ただ、香川さんが委員長を引き受けるのが条件なんです。やってくれますよね？」

香川：「はあ？」

でも、これまでにない新しい試みですし、何かおもしろそうだったので、即答で引き受けたのを覚えています。

そして記念すべき最初の企画委員会は、私を委員長として、大谷肇先生（名工大）、大関博氏（旭化成）、佐藤信之氏（東レリサーチセンター）、堤内要先生（中部大）の5名に、衣笠晋一・運営委員長（産総研）と渡辺健市・例会担当副委員長（豊田合成）を加えて、2013年3月14日に名工大で行われました。私は、それから企画委員長を5年間務めた後、現委員長の佐藤氏に引継ぎました。

## 2. 懇談会活動体験に係わる寄稿（明治大学 研究・知財戦略機構） 神谷 嘉美

高分子分析研究懇談会60周年記念誌が発行されますこと、心よりお祝い申し上げます。美術系にいた人間として本会と出会い、驚いたことは討論会の方針と発表形式でした。研究途中であっても構わない点、全ての発表のプレゼンを聴講してからポスター発表の時間がしっかりと確保されている点など、文系では考えられない内容にただ感服するばかりでした。ポスター掲示のスペースも他の学会では見られないもので、意見交換を重要視されていることが強烈に伝わります。何よりも発表会場での交流によって、思いがけない研究進展がありました。どこか懐かしいようなアットホームな部活動にも似た、本会の人情味ある温かな雰囲気は誇るべきものだと思います。異分野であっても仲間として受け入れてくれた先輩方に感謝申し上げます。

生まれて初めてポスター賞をいただいたこともあり、大変思い入れが多い会で、毎回相談をするつもりで研究発表を重ねておりました。十数年が経って、少しでも恩返しをしたいとCOVID-19の影響を受けた年に運営員を拝命したことも感慨深いです。通常の活動が困難な時期となりましたが、それでも諸先輩方の本会への熱意があって、今までの活動が支えられていたということを実感しました。恥ずかしながら私はポカンとしたまま2年の任期を過ごしてしまい猛省するところですが、60年を作り上げてきたその業績と、縁の下の力持ちの皆様に敬意を表します。様々なアプローチをする多様な研究者が垣根なく交流できる場所として、その存在感は今後ますます強くなるものと期待しています。

## 【60周年記念誌（暫定版）編集後記】

本記念誌は新型コロナウイルス感染拡大で余儀なく延期され、やっと開催の運びとなった懇談会設立60周年記念講演会でのHP掲載をめざして編集を進めてきたが、編集をしながら過去のイベントを思い出すうちに、単なる活動記録のみではなく、この間のイベントに参加した会員の思い出も一緒に留めておきたいと考えるようになった。遅ればせながら自由投稿という形で寄稿を募らせていただきましたが、あまり原稿が集まりませんでした。

募集期間があまりなかったこともありますが、よく考えれば小職がそうであったように本誌を眺めている間に、あるいは60周年記念講演会で講演を聞いている間や祝賀会でメンバー交流している間に、過去のイベントに関する思い出が沸々と湧いてくると思われるので、投稿の動機となる「きっかけ」がなかったのではないかという考えに至りました。そのため今回はオンライン掲載の特徴を活かして、本記念誌をまず暫定版の形でHPに掲載させていただき、夏期合宿くらいまでを目途に寄稿を追加募集させていただき、それを含めて最終版とさせていただくことにしました。

これまでにいただいた寄稿を掲載していますので、そちらも参考にさせていただき、懇談会活動体験に係わるトピックスや思い出を投稿いただければ幸いです（A4版1枚程度でお願いします）。

最終版について活動記録と共に多くの思い出の記録も留めて発行できることを楽しみにしています。ご協力どうかよろしくお願いします。

2023年4月吉日

2023年度高分子分析研究懇談会  
企画委員長  
(60周年記念誌担当)

佐藤 信之 (東レリサーチセンター)

(社)日本分析化学会 高分子分析研究懇談会

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ  
304 Tel 03-5487-2790 Fax 03-3490-3572